

# 埼玉医科大学病院ニュース

第76号



## ゆい

患者さんと医療者を結ぶ情報誌

### CONTENTS

ページ 2

2023年度を迎えてー地域の皆様へー  
病院長 篠塚 望

ページ 3

座右の銘  
医師として大切にしていること  
腎臓内科 診療部長 岡田 浩一

ページ 4

こんな症状ありませんか？

ページ 5

私たちが大切にしていること  
わたしの専門

ページ 6

国際緊急援助隊

ページ 7

アスリート通信  
埼玉医科大学グループアスリートクラブ

ページ 8

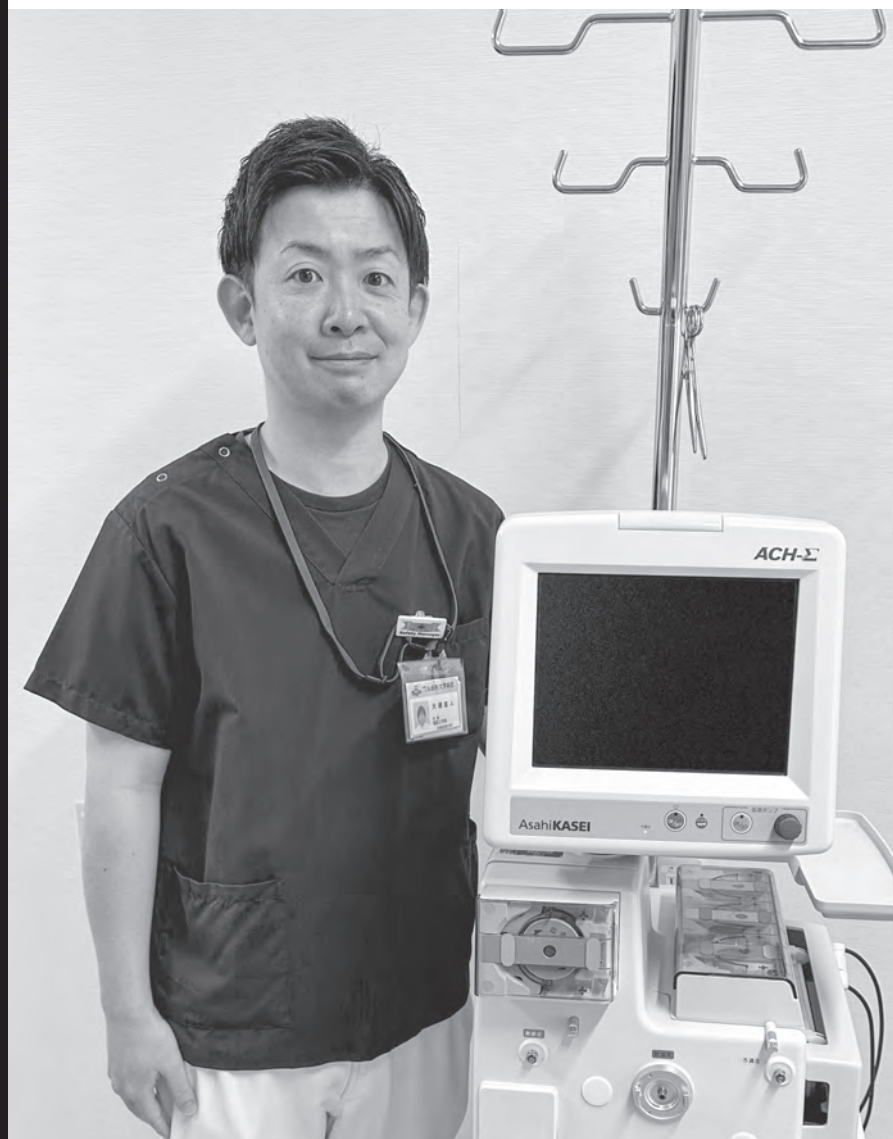
将来の夢のために

ページ 9

スマート会計

ページ 10

基本理念  
外来診療案内・新型コロナウイルス感染症  
に対する対応・駐車場のご案内



合言葉は  
あなたの幸せが  
私たちの幸せです

Your  
HAPPINESS  
Is Our  
HAPPINESS

# 病院長あいさつ

## 2023 年度を迎えて

### —地域の皆様へ—



病院長

篠塚 望

本院は、1972（昭和47）年の埼玉医科大学創立以来、医学教育を行うとともに、埼玉県西部の地域医療を担う中核病院として発展を続けてまいりました。秩父連峰を望む緑豊かな毛呂山の地に位置し、現在精神科病床76床を含む798床を運用しています。1994（平成6）年3月に厚生労働省の認可を受けた特定機能病院です。

**特定機能病院**とは、高度の医療を提供し、高度の医療技術の開発、評価、研修を行なう能力を有し、厳しい承認要件を満たして認可された病院のことです。

当院は、以下の三点を目標に運営しています。

- 1) 特定機能病院として高度医療技術に支えられた先進的医療を、患者さんの安全を第一にして提供すること。
- 2) 教育病院として、医学生の育成と研修医を始めとした若手医師の全人的な教育を行うこと。  
また、看護師等の医療スタッフの教育を行い育成すること。
- 3) 地域の中核病院としてどのような病気にも対応するとともに、地域の医療機関と連携し地域住民の医療と福祉に貢献すること。

**埼玉医科大学グループ**は、全職員が「Your Happiness is Our Happiness（あなたの幸せが私達の幸せです）」

をモットーにして医療と福祉の理想郷づくりを目指しています。当院では、“For Patients（患者さんのために）”を合い言葉に患者さん第一の診療を実践して、「断らない病院」を目指します。

**急速な社会の高齢化**に伴って、悪性新生物、心疾患、肺炎、脳血管疾患などが増加し、その結果地域の基幹病院には多くの患者さんが集中しています。埼玉医科大学グループには、毛呂山町に位置する当院の他に、日高市の埼玉医科大学国際医療センター、川越市の埼玉医科大学総合医療センター・かわごえクリニックがあります。また、埼玉医科大学の母体である丸木記念福祉メディカルセンターとも連携をしています。その中で、当院は良性疾患から高度医療や緊急治療を要する疾患まで、幅広い診療を行っておりますが、近隣にあります国際医療センターとは特に密接に連携し、2つの病院で1つのメディカルセンターとして各々の特徴を活かした医療を提供しております。

**埼玉県**では、人口当たりの医師数は全国最低レベルであり、病床数もいまだに少ないため、医療インフラ不足が一気に顕在化することが予測されます。限られた医療資源を有効に活用するために、地域の病院やかかりつけの先生と連絡を取り合って、それぞれの役割を果たしながら皆さまの健康を守る必要があります。そのためには、高度医療や急性期医療を当院で引き受け、症状が安定したら地域の病院での入院治療やかかりつけ医での通院治療をお願いすることになりますので、よろしくご理解のほどお願い申し上げます。

**新型コロナウイルス感染症**の発生から約3年が経過しましたが、皆様には大変なご不便をおかけしております。医療機関における感染対策については、手指衛生などの標準予防策に加え、マスクを適切に着用することや十分な換気を行うことの有効性などが明らかとなっております。2023年5月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類へと変更されますが、その後も一定の流行が繰り返されることが想定されております。このため、多くの入院患者や重症化リスクの高い方々が集まる当院においては、今後も感染が拡がらないよう対策を続けていくことが必要となります。何卒ご理解とご協力の程、よろしくお願い致します。

**地域医療の最後の砦**として、「安心で安全な質の高い医療」を提供できるよう、全職員が一丸となって努力する所存ですので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



## 医師として大切にしていること

「知不知上」（知りて知らずとするは上なり）は老子の言葉で、東洋哲学を研究している義理の兄から教授就任に際して贈られたものです。

たとえ最高・最良と思われる知識を身につけていても、まだ自分は本当のことを知らない、まだ足りないものがあると自覚できている人こそ真に優れた人である、という意味だと理解しています。たゆまぬ真理追求や自己修練の奨め、また慢心への戒めともとれる言葉です。大学病院や学会での仲間内の情報交換やインターネットを通じた最新情報で専門家らしく振舞っている我々専門医（特に私）こそ、日々、向かい合う患者さんからの学びを大切にしなければならないということをお教えしてくれています。

教授・診療部長を拝命してから10年がたちますが、その間もこの贈られた言葉を胸に、マイペースで着実に、そして前向きに診療・教育・研究に取り組んできたつもりです。しかし日暮れて途遠し、私も、そして教室もまだまだこれからです。今後も奢ることなく、どん欲に学んで行きたいと考えています。

## 座右の銘

## 知不知上

（知りて知らずとするは上なり）

腎臓内科

おかだ ひろかず  
岡田 浩一

プロフィール

京都府出身

慶應義塾大学

総合内科専門医、腎臓内科専門医

透析専門医、FACP、産業医



## こんな症状ありませんか？

### 尿検査に異常がある

「尿にタンパクが出ている」といわれたら、腎臓病の可能性があります。血液や尿を詳しく検査して、今後の対応を相談させてください。代表的な病気は、糖尿病性腎臓病、慢性糸球体腎炎、腎硬化症などです。早期であれば、食事療法や薬物療法で病気の進行をゆっくりにすることができます。

一般外来（月曜日から金曜日）；全医師

### 腎臓の働きが悪い

「クレアチニンが高い」「GFR（ジー・エフ・アール）が低い」といわれたら、腎臓の働きが悪くなっています。一度悪くなった腎臓の働きは戻りませんので、早めに御相談ください。血液や尿の詳しい検査に加えて、MRIや超音波検査で腎臓の様子を確認します。食事療法や適切な薬物療法で病気の進行をゆっくりにすることができます。

一般外来（月曜日から金曜日）；全医師



### 透析が必要だといわれた

Shared decision making (SDM) という意思決定プロセスを実践しており、医学的な情報や最善のエビデンスと患者さんの生活背景や価値観などの情報を、患者さん・御家族・医療者が共有しながら、最適な腎不全医療（血液透析、腹膜透析、腎臓移植、保存的腎臓療法）を決定していきます。

腎代替療法相談外来（土曜午前）；友利浩司



### 透析用の血管が細い

バスキュラーアクセス（内シャント、動脈表在化、人工血管、カテーテル等）とは、血液透析を行う際の血液の出し入れ口です。透析を開始する前に作成する必要があります。狭くなったり、閉塞してしまうことがあるため、定期的なメンテナンスも必要です。当科では血管外科と連携し専門医によるアクセス外来を開設しております。

バスキュラーアクセス外来（月曜日・木曜日）；近藤立雄

### 当院で血液透析を行いたい

東館5階の血液浄化ユニットでは、入院患者さん用に17床を配備し、透析療法や特殊血液浄化療法（血漿交換、血液吸着など）を行っています。また、外来維持透析患者用の28床では、大学病院の外来透析部門として、質の高い透析医療を提供しています。

血液浄化ユニット（月曜日から土曜日）；友利浩司、ほか



### 当院で腹膜透析を行いたい

当科は、腹膜透析を積極的に推進しており、現在も約40名の患者さんが通院されています。当科では、専門外来としての腹膜透析外来を設けず、月曜日から金曜日まで全ての外来担当医および看護師が腹膜透析診療にあたっています。また、埼玉県西部地区の腹膜透析診療のバックアップセンターとして、他院からご紹介いただいた腹膜透析患者さんの診療も行っています。

腹膜透析外来（月曜から金曜日）；全医師

# 私たちが大切に していること

## 患者さんに最善の治療を提供 するように努めています

腎臓内科では様々な疾患を対象していますが、治療法はどの領域においても目覚ましく進歩しています。当科は患者さんのご希望をよく聞いて最善・最新の治療を行っています。

私たちは腎臓病（透析・血液浄化）センターの一員として、腎疾患の発症リスク管理から腎代替療法まで、腎疾患患者さんの全人的なケアを目指して、多職種で協力して取り組んでいます。特に腎臓内科医としては、「全身から腎臓を見る」、「点ではなく線で腎疾患患者を診る」という包括的な腎臓病学” Total Nephrology(トータルネフロロジー)”をモットーとして、基本領域としての総合内科を盤石な土台とした上に、専門領域としての腎臓内科の高みを目指しています。

日本では未曾有の高齢化が進行しており、高齢の腎疾患患者さんが増えています。高齢者では身体・認知機能や社会・家庭環境の個人差が大きく、我々は単に高齢の腎疾患患者さんの寿命や腎機能の延長を目指すだけでなく、患者さんご自身やそのご家族の真の望みは何かを問いつつ、常に満足度の高い医療を提供するように心掛けています。すべての高齢者は経時的に腎機能を失っていく潜在的な腎疾患患者とも考えられ、我々腎臓内科医はその全人的医療の最適任者であろうと日々努力を重ねています。

## わたしの専門



### 岡田 浩一（おかだ ひろかず） 診療部長

教授，腎臓内科（ネフローゼ症候群、急速進行性腎炎、高齢者CKD）、血液浄化療法  
資格：総合内科専門医、腎臓専門医、  
透析専門医

病診連携体制による保存期CKD管理の向上を通して、末期腎不全患者さんを減らす取り組みをしています。紹介の際にはぜひCKD連携パスをご使用ください。



### 井上 勉（いのうえ つとむ） 診療副部長

教授，腎臓内科（腎炎・ネフローゼ症候群）  
資格：総合内科専門医、腎臓専門医、  
透析専門医

腎炎やネフローゼ症候群の治療に関するセカンドオピニオンも承ります。複雑な病気ですが、分かり易い説明を心がけたいと思っています。



### 天野 博明（あまの ひろあき） 外来医長

助教，腎臓内科、血液浄化療法  
資格：総合内科専門医、腎臓専門医、  
透析専門医

一般外来、透析室、国際医療センター血液浄化部など急性期から慢性期まで多くの患者さんの腎不全診療に携わっております。まだまだ、日々勉強中です。



### 伊藤 悠人（いとう ゆうと） 病棟医長

助教，腎臓内科  
資格：総合内科専門医

病棟医長として、若手医師を指導しつつ、入院患者さんのケアを担当しています。また腎臓内科外来や他科入院中の腎臓病患者さんの診察をしています。



### 友利 浩司（ともり こうじ） 研修医担当医長

講師，腎臓内科、血液浄化療法  
資格：総合内科専門医、腎臓専門医、  
透析専門医

主に血液浄化ユニットで透析治療を担当しています。また、「腎代替療法相談外来」で腎不全患者さんの治療選択のお手伝いをしています。



### 近藤 立雄（こんどう たつお） 医員

助教，腎臓内科、バスキュラーアクセス  
資格：腎臓専門医、透析専門医、  
VAIVT学会専門医

血管の状態だけでなく、全身状態や生活を考慮したアクセス治療を心がけています。年間500件程度の手術はすべて私が責任をもって執刀/立合しております。

## 国際緊急援助隊

～日本時間 2月6日午前 10時 17分トルコ共和国でマグニチュード 7.8の地震が発生した。事態を受け、日本政府は国際緊急援助隊（以下 JDR）医療チームの派遣を決定した。～

私は看護師として3月5日より16日までの3次隊として、震源地の隣県ガジアンテップ県オーゼリにて活動しました。

JDR 医療チームは、住処となるキャンプサイトで野営をしながら自分達で展開した医療サイトで活動を行います。その為、普段の充実した設備とは異なる状況下での診療となりました。私は、初めてのJDR 医療チーム派遣に加えて、海外に慣れているわけでもありませんでした。派遣要請が来た時は、不安な気持ち99%と1%のドキドキを胸に家族と関係各所に許可を頂き派遣が決まりました。

今回の JDR 医療チーム派遣は JDR 初となる、外来・入院・手術に対応できる Type 2 と呼ばれる体制で臨みました。

JDR 医療チーム 3次隊は、団長（外務省）副団長（医師・JICA 事務局）医師 5名・看護師 8名・医療調整員・業務調整員を含めた計 41名での活動となりました。

派遣場所のオーゼリは、地域の中核を担う国立病院が地震の影響を受け、近くの職業訓練学校へ移転しており、JDR は、その学校の前にある広場へ医療サイトを

を展開し、診療を行いました。

私は、外来部門担当となり、連日 100人前後の患者の受診を担当しました。最初は緊張しましたが、搬送されてきた重症外傷の子供に、処置を行いながら患者に細かく声をかけることや、丁寧な家族対応ができ、今までの自分の経験を活かす事が出来たと思えました。また、多くの現地の方々から「来てくれてありがとう、あなた達は天使です」と歓迎頂き心が温まりました。

毎日ミーティングは、少ないスタッフで多くの患者診療を行うため、より良い方法を皆で話し合い、修正し実践する重要な時間でした。活動終盤は、疲労感もストレスもありましたが、チームの経験豊富な隊員の気配りや、声掛けなどで乗り切ることが出来ました。正に今回、共に派遣された隊員は、同じ釜の飯を食べた隊員であり、仲間の大切さを感じることができました。この派遣で得た経験は、できる限り病院へ還元していきたいと思えます。

最後に、派遣に際して激励して頂いた病院長・総看護部長、迅速に調整頂いた看護部長・副部長、勤務調整していただいた職場スタッフの皆様に感謝致します。

ICU 病棟 国際緊急援助隊 石倉 力 （写真提供 JICA）



診察中の様子



医療用サイト



JDR 医療チームメンバー

# アスリート通信

## 埼玉医科大学グループ

### アスリートクラブ

## 第90回埼玉県駅伝競走大会

### 1位

埼玉医科大学アスリートクラブ  
(<http://www.smu-athlete.jp>)

令和5年2月8日に鴻巣駅東口～熊谷スポーツ文化公園内の5区間19.0キロを走る第90回埼玉県駅伝が3年ぶりに開催されました。女子駅伝部は初出場ながら3つの区間新記録、区間賞を獲得し、1時間5分7秒のコース新記録で総合1位となりました。

レースは1区飯島理子選手が先頭と3秒差の区間2位でタスキをつなぎ、2区伊東明日香選手がその勢いで先頭を捉えると、後続と30秒以上の差を付けトップで3区今泉野乃香選手へタスキが渡りました。今泉選手は2位の選手と徐々に差を付け、区間新記録の快走で後半区間を勢いづける形となりました。4区高野美幸選手は、最長区間である4区を堅実な走りで粘り切り、チームのエースである室伏選手へタスキを渡しました。アンカー室伏杏花里選手は、エースらしい堂々とした走りで後続をさらに突き放し、優勝のゴールテープを切りました。

室伏選手は今大会を持って競技を引退されるとの事で、最後の試合はチーム一丸となり最高の結果で有終の美を飾ることが出来ました。お疲れさまでした。

女子駅伝部は創部以来チームとして初めての優勝タイトルとなり、この大会をきっかけに年内行われるクイーンズ駅伝の2回目の出場にむけて一層の活躍と成長が期待されます。応援いただいた皆様には感謝申し上げます。ありがとうございました。今後ともアスリートクラブ駅伝部の応援をよろしくお願いいたします。



スタート地点の様子



最長区間4区を走る高野選手



ラストランを飾った室伏選手



中継所でのタスキ渡し



終了後にチームメンバーで記念撮影

## 将来の夢のために

2月27日から3月17日、管理栄養士養成校である大妻女子大学3年生2名が、栄養部において臨地実習を行いました。

管理栄養士として「食」「栄養」に関わる職に就くための一歩となる貴重な実習となり、実習生からは以下のようなコメントをいただきました。

「大学病院で臨地実習を経験し、給食・栄養だけでなく様々な知識を身につけることができました。特に多職種と連携しながら患者さんの栄養管理を行っている姿に、未来の自分もこのように活躍したいと感じました。」(学生談)

埼玉医科大学病院では、将来医療関係職を目指す学生の皆様の実習受け入れを行っております。将来のために少しでもお役に立てれば幸いです。



外来栄養指導



糖尿病治療に関する教育



厨房



透析室の回診

掲載については学校の許可を得ています。

## ワゴン販売サービスのお知らせ

10:00~12:00

※各病棟に到着しましたら、アナウンス致します。  
※お支払いは現金のみとなります。

各病棟デイルームにて販売しております。

販売スケジュール	月	火	水	木	金	土
本館、西館、東館	●		●		●	
南館		●		●		●

### 5号館売店(株)ウエルフェア

年中無休

平日・土曜 8:30-18:00  
日曜・祝日 11:00-17:00  
TEL049-276-1571 (内2598)





会計待ち時間をゼロに！  
埼玉医科大学病院「後払いクレジットサービス」  
**スマート会計のご案内**



### 外来

**1 受付**  
スマート会計専用受付機でエントリー。  
『★ご利用票★』が発行されますので忘れずにお受け取りください。

**2 診察**  
従来通り診察・検査へ。終了後、外来や検査室で会計ファイルを受け取ります。

**3 帰宅**  
会計ファイル、①の『★ご利用票★』をスマート会計窓口へ提出。  
処方箋・予約票などを受け取り、**会計を待たずに帰宅できます。**

### 入院

**1 受付**  
入院時にスマート会計専用受付機でエントリー。  
『★ご利用票★』が発行されますので入退院の窓口へお持ちください。

**2 入院**  
入院時にエントリーいただければ**入院中の定時請求も自動で精算を行います。**  
※定時請求は月締め翌月 10 日頃にお渡ししています。  
※請求後、約 4 日後にカード決済となります。

**3 退院**  
**退院時は入退院窓口立ち寄りせず帰宅できます。**  
※保険証確認等、お立ち寄りいただく場合もございます。

本サービスのご利用には事前登録（無料）が必要です。

診察前のご登録で、当日の会計からご利用いただけます。



**スマート会計** ご利用登録サイト

<https://s6.medicalpay.jp/saitama/new/>

※ご登録から完了まで、安全のためご自身の接続環境に切り替えてください。(Wi-Fi オフ推奨)



◇クレジットカードは現在お使いのカードをご利用いただけます。※①

◇領収書は後日、スマート会計領収書発行機から発行いただけます。

※①当院と提携のある右記カード会社に限ります。



ご不明な点は右記まで  
お問い合わせください



埼玉医科大学病院 医務部

スマート会計（後払いクレジット窓口）

TEL：049-276-1128（外来）

049-276-1129（入院）

（平日・土曜 8：30～17:00 日曜・休祝日除く）

※本サービスはグローリー株式会社「待たずにラク〜だ」を使用しています。（「待たずにラク〜だ」は、グローリー株式会社の商標です。）

## —基本理念— 当院は、すべての病める人に、満足度の高い医療を行うよう努めます。

### 病院の基本方針

1. すべての病める人々にまごころをもって臨みます。
2. 安心で質の高い医療を実践します。
3. まわりの医療機関と協力し合います。
4. 高い技能を持つ心豊かな人材を育成します。
5. より幸せとなる医療を求めた研究を推進します。

### 患者さんの権利

1. ひとりひとりが大切にされる権利
2. 安心で質の高い医療を受ける権利

3. ご自分の希望を述べる権利
4. 納得できるまで説明を聞く権利
5. 医療内容をご自分で決める権利
6. プライバシーが守られる権利

### 小児患者さんの権利

1. こどもが最善の治療を受けて生きる権利
2. こどもが暴力から守られる権利
3. こどもが能力を十分に伸ばせるような医療を受ける権利
4. こどもが自分の診療について自由に意見を述べる権利

## 外来受診のご案内

診察時間 月曜～土曜 9:00～17:00

受付時間 月曜～土曜 8:30～17:00 (初診で予約の無い方 8:30～11:00)

※紹介状をお持ちの方は、事前に予約センターで電話予約をしたうえでご来院ください。  
予約センター 049-276-1179 (8:30～17:00 日曜祝日除く)

## 新型コロナウイルス感染症に対する対応

5月8日から新型コロナウイルス感染症が「5類」に移行する方針ですが、医療機関では高齢者など重症化リスクの高い人たちが集まるため、施設内において感染が拡がらないよう対策を続けていくことが求められています。

来院される際には今まで通り**手指衛生の実施**、院内では常に**マスク着用**をお願い致します。

最新の情報を元に、より良い感染対策を考え、患者さんに安心できる医療を提供できるようにこれからも取り組んで参ります。

## 外来駐車場のご案内



毛呂駅前駐車場



救急センター前



埼玉医科大学病院外来



鎌成館前駐車場

表紙：大橋直人(オオハシナオト) 臨床工学技士  
資格：腎代替療法専門指導士、認定血液浄化関連臨床工学技士、透析技能検定1級、透析技術認定士、3学会合同呼吸療法認定士等  
私たちは病院の生命維持管理装置やその他医療機器の操作、保守管理、研修などを行い、医療機器を通して安心・安全な医療を提供する「いのちを支えるエンジニア」としてすべての人の健康と笑顔のため日々努めております。

## 埼玉医科大学病院ニュース 第76号

発行日 令和5年5月1日  
発行責任者 病院長 篠塚 望  
編集発行 埼玉医科大学病院 病院広報戦略室  
TEL 049 (276) 1121 FAX 049 (294) 8222  
www.saitama-med.ac.jp/hospital/index.html

